

THE 20th ANNUAL ALL JAPAN DOWNHILL DERBY CLASSIC

「第20回全日本ダウンヒル・ダービー選手権大会」

2018年 12月16日(日)
愛知産業大学内 特設コース

グループA & グループC

[開催概要・規則書]

発行:2018年6月14日

改定:2018年10月13日



NPO All Japan Downhill Derby Association

NPO 全日本ダウンヒル・ダービー協会

愛知県岡崎市竜美中 1-1-7

E-Mail office@downhillderby.jp

<https://downhillderby.jp/>

はじめに

「ダウンヒル・ダービー」とは、簡単に言えば、動力の付いていない手作りの乗り物（カート）で、重力の力だけで坂を下る速さを競う競技です。

坂を下るだけの簡単な構造の乗り物ですから、"Do It Yourself"（手作り）が得意な人も、ちょっと苦手な人も、気楽に参加することができます。たとえ小中学生であっても、家族やまわりの人たちから多少の手助けを受ければ、十分製作・参加が可能な範囲であると確信しております。また、専門的な技術をもつ人にとっては、もっと「高度な」マシンを作って腕前を披露する絶好の機会です。小中学生が、家族やまわりの人たちの協力を得ながら、ダウンヒル・ダービーに参加することにより、必然的に家族や周辺との会話や交流、意思の疎通を通じたい絆を生んでいくことでしょう。

このダウンヒル・ダービーは「遊びごころ」を重視し、家族だんらん、親子、手づくり、自然、環境、愛情、楽しみ、エコロジー、それらの思いを込めたものです。

親子、家族、仲間同士で楽しめる、意義のある「地域イベント」として、2000年10月に第1回大会を開催して以来、毎年開催してまいりました。そして、いよいよ全国に向けて、また世界に向けて第20回全日本ダウンヒル・ダービー選手権大会を2018年12月16日（日）に、愛知県岡崎市の「愛知産業大学内特設コース」にて開催いたします。

開催略歴

第1回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2000年10月1日	愛知県岡崎中央総合公園にて開催
第2回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2001年9月15日・16日	愛知県岡崎中央総合公園にて開催
第3回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2002年10月19日・20日	愛知県岡崎中央総合公園にて開催
第4回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2003年11月8日・9日	愛知県岡崎中央総合公園にて 愛地球博パートナーシップ事業として開催
第5回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2004年8月14日・15日	愛知県幸田サーキットYRP桐山にて 愛地球博パートナーシップ事業として開催
愛・地球博	市民プロジェクト「そこに坂があるから」	2005年8月22日～29日	愛・地球博 瀬戸会場にて開催
第6回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2005年11月26日・27日	愛知県新城総合公園にて開催
第7回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2006年6月3日・4日	愛知県新城総合公園にて開催
第8回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2006年11月25日・26日	愛知県新城総合公園にて開催
第9回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2007年8月26日	愛知県新城総合公園にて開催
第10回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2008年9月28日	愛知県新城総合公園にて開催
第11回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2009年9月27日	愛知県新城総合公園にて開催
第12回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2010年9月26日	愛知県新城総合公園にて開催
第13回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2011年10月2日	愛知県新城総合公園にて開催
第14回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2012年9月30日	愛知県新城総合公園にて開催
第15回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2013年10月6日	愛知産業大学にて開催
第16回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2014年10月5日	愛知産業大学にて開催
第17回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2015年10月4日	愛知産業大学にて開催
第18回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2016年10月2日	愛知産業大学にて開催
第19回	ダウンヒル・ダービー選手権大会	2017年10月1日	愛知産業大学にて開催

開催概要

名 称	Downhill Derby 2018 第20回全日本ダウンヒル・ダービー選手権大会		
開催場所	愛知県岡崎市岡町原山 12-5 「愛知産業大学」特設コース		
会 期	2018年 12月16日(日) 10:00~17:00		
主 催	特定非営利活動法人 全日本ダウンヒル・ダービー協会		
後 援	愛知県、岡崎市、岡崎市教育委員会(予定 順不同)		
連携協力	NPO 祭りだわっしょい!		
協 賛	民間企業		
参加費用	参加費用	グループA	¥2,000
		グループC	¥4,000
	WEBにて エントリー受付	8月4日(土)~9月17日(月)	
		(グループA・C 各先着30チームまで)	
観 戦 料	無料		
参加者見込	グループA	30台	グループC 30台
来場者見込	1500名		
内 容	手づくりカートによるレースイベント		

参加資格

ドライバーは運転に支障のない健康状態であれば誰でも参加できます。

※健康状態はレース当日確認します。

※年齢に制限はありませんがドライバー自身が注意をはらってカートを安全に止めたり曲まがったりする操作ができることが前提です。

参加者全員に誓約書の提出を求めます。未成年者には保護者による同意書の提出も求めます。

参加車両

車両（カート）は参加者がダウンヒル・ダービーの目的、製作規則に従って製作してください。

競技内容と表彰

タイムトライアル

競技は一斉にスタートするのではなく、個々にタイムを計って速さを競います。

レースはブレーキを使い一度停止してから、スタートの合図でブレーキを解除し、スタートします。

スタートの際も競技中にも押しったり、引っぱったりといった外からの力は使えません。

ゴールはカートの先端がフィニッシュラインを越えた時とします。

第1ヒート1回、第2ヒート1回の計2回のトライアルを行い結果の良い方のタイム・距離を採用します。

タイムトライアルでは、途中で止まってしまった場合、自分自身で再出発できない場合はレースを終え、速やかにコースの外に出てください。コースアウトの場合も同様です。カートから降りた時点でレース終了となります。審判員が走行状態、コース状態を危険と判断した場合にも、レースを中断します。

グループ 2つのグループを設けます。

グループA 車体重量(カートのみ)の重さが40kg以下で、ノーマルダウンヒルコースを使用します。

グループC 車体総重量(ヘルメットと正しい服装のドライバーの体重を加えて)が140kg以下でスーパーダウンヒルコースを使用します。

表彰

タイムトライアル

グループA、グループCの各1位から6位までは賞品を授与します。

グループAでは、上記表彰とは別に小学生以下を対象としたキッズ部門を設けます。

タイムトライアルの表彰とは別にデザイン・独創性パフォーマンスの賞などを設けます。

各グループ参加車両の中で最も個性あるデザインの車両に賞品を授与します。

カースタイリング賞 (これまでにないスタイルを持った車両、デザイン及びテーマが素晴らしいもの)

エンスージアスト賞(メカニズム・テクノロジー等の優れたもの)

ユニークパフォーマンス賞(会場にて多くの人々から注目を集めたもの)

該当する賞が無い場合、その他の特別賞に設定しなおす場合もあります。

参加申込と出場料

エントリー受付期間

2018年8月4日(土)～9月17日(月)とします。

(グループA・C 各先着30チームまで)

申込はインターネットで、受付を行います。所定の参加申込フォームに必要事項を入力しお申込みください。参加料は当協会の指定口座へお振込いただき、誓約書は当日会場へ持ちください。

<https://downhilderby.jp/>

全日本ダウンヒル・ダービー協会

〒444-0879 愛知県岡崎市竜美中1-1-7

office@downhilderby.jp

お申込みをお受けしますとゼッケン番号をご連絡いたします。

出場料

グループA： ¥2,000 グループC： ¥4,000

その他

1台のカートで同じグループに複数の人がエントリーすることはできません。

(同じカートでグループA・グループCの両方にエントリーすることは可能です。この場合、ドライバーは同一でも、別でもかまいません。ただし、同一の場合であっても参加するグループそれぞれに、申込書と誓約書を提出してください。)

ホームページでは随時、新しい情報をお知らせしています。

e-mail office@downhilderby.jp

車両（カート）製作規定と諸注意事項

参加車両は、直進安定性、旋回性、制動力、車体剛性等がタイムトライアルに充分耐えうる安全な性能を有している必要があります。

A. 推進力

1. すべてのカートは、重力だけで推進するように製作してください。
(スタート時に押し下りしてはいけません、スタートはブレーキ解除でおこないます。)
(サスペンションは駆動力を発生させる目的での使用はできません。)
(二次的に得た推進力は重力だけで推進するものとは認めません。例：風力・水力・電力・ぜんまい・重心移動をさせる装置・フライホイール・慣性モーター等)
2. カートを支え、地面に接するのは4つの車輪だけで、他の機構が接地する構造にはできません。(4輪以外の構造は認められません)

B. 寸法と重量の規制

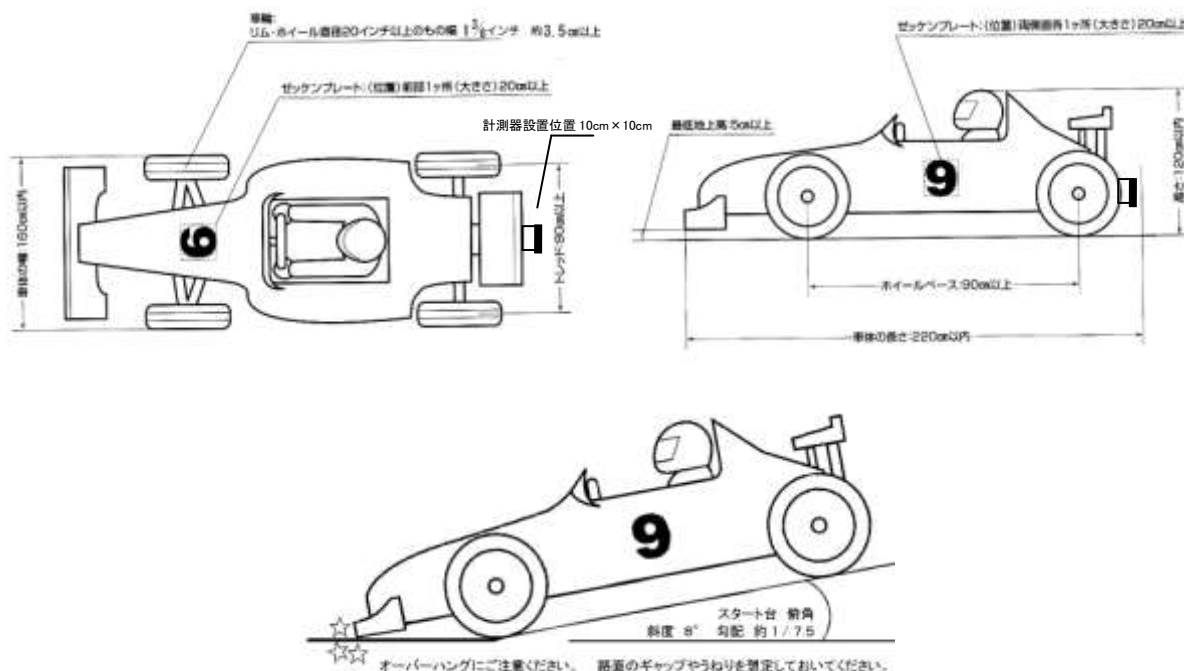
1. 長さ : 前後車軸の中心間の距離（ホイールベース）は90cm以上とし完成した車体の長さは220cmを超えないものとします。
2. 幅 : 左右の車輪間の距離（トレッド）は前後とも90cm以上とし完成した車体の幅は160cmを超えないものとします。(車輪の中心にて計測、キャンバー角のあるものはその中心)
3. 高さ : ドライバーが乗車し、シート（座席）にしっかり座った状態でヘルメット本体の最上部が地面から120cmを超えないものとします。
(装飾されたヘルメットやノボリなどは装着した状態でゴールゲート[250cm程度]をくぐり抜けられるように)
4. 最低地上高 : ドライバーが乗車した状態で5cm以上地面から離すものとします。
(ブレーキシステムも含む)
5. 重量 : グループAは40kg（車重のみ）を超えないもの
とします。グループCは140kg（ヘルメットと正しい服装のドライバーの
体重を加えて）を超えないものとします。
6. 車輪 : タイヤサイズ（リム・ホイール直径）が20インチを越えるものを使用する場合、そのタイヤの幅は1+3/8インチ（約3.5cm）以上とします。
7. その他 : ゴーカートのシャーシ、車いす、スケートボードなどをそのまま使用することはできません。ダービー本来の目的に合致させ製作してください。

C.ステアリング(かじとり)

1. ステアリング・システムはコースを下る時にカートの直進性を保つものでなければなりません。
2. ステアリングは前輪を動かして行わなければなりません。(前二輪のみ操舵するものとします) スケートボードのような体重移動によるステアリングは禁止とします。
3. ステアリングは手で操作する構造にしてください。足を使うものは禁止とします。馬の手綱のようにロープを使うものも禁止とします。

D. ブレーキ

1. ブレーキシステムは、ステアリングに影響されることなく、安全にカートを止めることのできる独立したブレーキシステムにしてください。
2. ブレーキシステムは、カートがその性能上可能などれほどのスピードを出していようと、15m以内でカートを止めることができなければなりません。(ゴール後の安全地帯の長さは15mほどです。) 車検では、ドライバーが乗車してコース上にて制動テストを行います。



オーバーハングに注意の上製作してください。路面のギャップやうねりを想定してください。また、スタート台の俯角はおよそ斜度8°勾配1/7.5で製作されています。ロードクリアランスをしっかり確保してください。

E. 安全性

1. ドライバーは必ず、目・頭・身体を保護するためのゴーグル、ヘルメット、安全な衣類を身につけてください。(丈夫な布地の長そで、長ズボン、そして底の丈夫な靴を着用し、サンダルやソックスのみでの運転は禁止です) カートがオープンタイプの場合は、ドライバーは適切な保護具(膝当て、ひじ当てなど)を身につけてください。
ノーマルダウンヒルコースでは学童用ヘルメット、自転車競技用ヘルメットを認めます。
スーパーダウンヒルコースでは、安全規準(SGマークなど)を満たしたシールド付きヘルメット(シールドの無いジェットタイプにはゴーグルの着用が必要)を着用してください。ヘルメットのあごひもはきちんと締めて競技してください。
2. ドライバーが車体の中で完全におおわれている場合は、乗降口は中からも外からも簡単に開く構造にしてください。テープで貼ったりして開きにくくしてもいけません。
3. カートは内部にも外部にも、ドライバーや観客に傷を負わせる可能性のある突起物があってはなりません。自転車の車輪のようなスポークのある車輪を使う時は、ドライバーが直接接触することの出来ないような対策をしてください。
4. 一台のカートには一人のドライバーしか乗ることはできません。
5. ドライバーは、絶対に頭を下(進行方向に対して前方)にしてカートに乗ってはいけません。
また通常乗車姿勢で無理なく前方を見られる構造として下さい。(極端に無理な乗車姿勢となる車両の場合は車検時の審査で失格となる場合があります。)
6. 装飾や部品はコースに落ちないように車体にしっかり固定してください。
(衝撃や振動にて飛散する可能性がある部品については、テープ等でしっかり固定してください。花火・煙幕等は使用厳禁とします。)
7. シートはホールド性の高いものを取り付け、シートベルトを取り付ける場合は3点式以上のものをシートと共にしっかりと車体に固定してください。(グループAでは2点式も可能とします。)(シートベルトは取り付けなくてもかまいません。)
8. ロールバーを取り付ける場合は車体(シャーシ・フレーム)に堅固に固定してください。
9. カートはすべてレース役員による安全委員会によって点検され、委員会の決定は絶対とします。

F.ゼッケンプレートについて

1. あらかじめ決められたゼッケン番号を、車両の前部・左右各一ヶ所の合計3ヶ所に20cm四方(または直径20cm)以上の枠の中にできるだけ大きくはっきりと分かりやすい文字にて、参加者各自で製作し車体にしっかりと貼り付け固定してください。

その他

レース当日の車検の後、カートをむやみに改造・整備することはできません。

レース役員が違反とみなした場合は失格または退場となります。

また次の場合も同様に失格または退場を命ずる場合があります。

- ① 参加者及びチームメンバーが暴力やスポーツマンシップに反する態度を役員や他の参加者、または見学者にとったとき。
- ② 故意に危険な走行を試みたとレース役員が判断した場合。
- ③ 各大会での公式通知はこの規則書より優先されます。

タイムスケジュール

大会当日 12月16日(日)

1. 受付等	10:00	受付・車検開始
2. 開会式	11:00	開会式・ドライバーズミーティング
3. 公式練習	12:00	グループA
4. タイムトライアル	13:00	ヒート1・ヒート2(グループA)
5. 公式練習	14:00	グループC公式練習
6. タイムトライアル	15:00	ヒート1・ヒート2(グループC)
7. 表彰式	16:30	

※スケジュールは予告なく変更する場合があります。

悪天候による大会中止基準について

台風の接近等で大会当日が悪天候となる場合、大会を中止いたします。

大会当日の午前6：00の時点で会場の愛知県岡崎市に暴風警報が発令された場合（されている場合）は、大会を中止いたします。それ以降に暴風警報が発令された場合もその時点で大会を中止いたします。

大会が中止と決定された場合の参加費について、基本的には参加料返金はいたしません。但し、主催者が特別な事態と判断した時は、その都度、決定します。

大会参加者の皆さまには多大なご迷惑とご負担をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

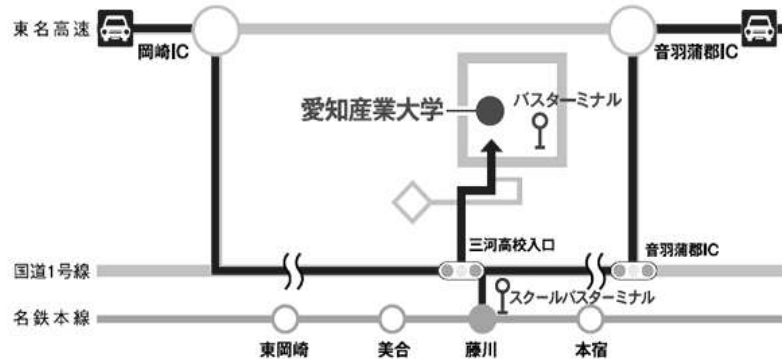
会場案内

「愛知産業大学」

〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山 12-5

TEL 0564-48-4511 <http://www.asu.ac.jp/>

- 東名高速岡崎 I C から
国道 1 号線を東へ 10 分
三河高校入口信号を左折 3 分
- 東名高速音羽蒲郡 I C から
国道 1 号線を西へ 15 分
三河高校入口信号を右折 3 分



THE 20th ANNUAL ALL JAPAN DOWN HILL DERBY CLASSIC

**We hold the competition on
2018 December 16th(Sun)
in Aichi Sangyo University.**

<https://downhilderby.jp/>